

アメリカン・ドリーム

学校長 横山 豊



アメリカン・ドリームとは、アメリカ合衆国における成功の概念の1つです。それは、国民全てに均等に与えられる機会を活かし、勤勉と努力によって勝ち取ることができるものであり、そのルーツは独立宣言に記された幸福追求の権利に拠ります。独立宣言を起草したトーマス・ジェファソンは、ジョン・ロックが「統治二論」で不可侵の権利として挙げた「生命・自由・財産をめぐる権利」という言葉を、「生命・自由・幸福の追求の権利」に置き換えました。これによって、国民全ての夢を見るという行為に価値が付与され、アメリカという国の起源として大きな意味を持つことになったと言われています。

私たちの世代は小学校の時に、「偉人の伝記」を図書館の課題図書で読みました。その中に必ずエイブラハム・リンカーンが入っており、彼はまさにこのアメリカン・ドリームの体現者であったと言えます。

貧しい開拓民の息子だったリンカーンは、独学で法律を学び、アメリカ合衆国大統領の地位にまで上り詰めました。奴隷解放を宣言し、南北戦争による国家分裂の危機を回避した英雄であり、平等と理想、努力と勤勉によって成功が得られること(アメリカン・ドリーム)を見事に体現したのです。

本校のスローガンは「大志・継続・実現」です。みなさんが入学してくれた日に、私は挨拶の中で次のように話しました。「大志」～まず大きな夢を持ってください Be ambitious! 「継続」～3年間または6年間努力を継続しましょう Continue to study hard! 「実現」～そうすれば、必ず夢は叶います Dreams come true! と。これは、トーマス・ジェファソンが独立宣言において

述べた、勤勉と努力によって幸福を追求

することで、勝ち取ることのできるアメリカン・ドリームの理念に重なります。

夢が叶った時、英語ではA dream come true.と言います。これはcomeに三単現の-sが付いていない文法的な誤りではありません。このcomeは過去分詞なのです。つまりcome trueは過去分詞の後置用法でcome trueはdreamを後置修飾しているのです。A dream (was) come true.つまり「夢が叶ったね」と言いたい時に使います。A dream comes true.「夢は(近い未来に)叶う」ことを信じて弛まぬ努力を継続することで、いつの日かA dream come true.「夢は叶ったね」と言われたいですね。

夢を実現するためには、常に「大志・継続・実現」です。

皆さんの夢が叶うことを祈ります。

Dreams come true!

